

白布が進呈されました！

令和5年8月24日、四ツ葉学園中等教育学校でキャンパスとなる白布の進呈式が行われました。進呈式では、「世界一大きな絵」の実施団体であるNPO法人アース・アイデンティティー・プロジェクトの河原裕子代表理事から、制作の中心となる四ツ葉学園中等教育学校の生徒会本部と美術部へ白布が進呈されました。



作業の様子

今回作成した絵は、溶かした「ろう」を布に塗ることでその部分には色が付かなくなる「ろうけつ染め」という技法で描かれました。小学生たちは、講師を務めた染色アーティストの大竹夏紀さんや美術家の温井大介さんの指導の下、思い思いに絵を描き、大きな絵を完成させました。



作業の前に簡単なゲームでリラックス



ろうで白布に絵を描きます



どんな絵になるのかな？



ろうで描いた絵に色を塗っていきます



ろうを塗った部分が白い線に！



カラフルな絵が完成！

参加した子どもたちの感想

- 初めて会う子がたくさんいて緊張したけれど、グループの子と協力してたくさん絵を描けたので楽しむことができました
- いろいろな人と協力をしながら色を塗ったのが楽しかったです
- 大きな布に絵を描くことはめったにできないので、貴重な経験ができて良かったです
- 大きなプロジェクトに参加できて良かった
- 世界の人々とながれるプロジェクトに四ツ葉学園の皆さんと参加できたことは貴重な経験でした
- 描いた絵をどうやってつなげるのか楽しみ
- 他の学校の子と友達になれて良かったです。みんなと力を合わせて作れて良かったです
- お姉ちゃんといろいろな色を塗れてうれしかったです



「世界一大きな絵2024」プロジェクト

「世界一大きな絵」とは、世界中の子どもたちが描いた5メートル×5メートルの絵をつなぎ合わせ、一枚の大きな絵を作成するものです。今回本市が参加したこのプロジェクトでは、四ツ葉学園中等教育学校の生徒会本部と美術部が中心となり、市内の小学生143人と共同で一枚の大きな絵を作成。令和5年12月25日には完成披露式が行われ、大きな絵がお披露目されました。完成した絵は、ことしパリオリンピックが開催されるフランスで披露される予定です。

問い合わせ

教育部総務課 ☎27-2785

完成作品を鑑賞できます

完成した作品の展示を行っています。ぜひお越しください。

期間 3月24日(日)まで

時間 午前9時～午後7時

会場 メガネのイタガキ文化ホール伊勢崎(市文化会館)

「世界一大きな絵」プロジェクト

「世界一大きな絵」プロジェクトは、NPO法人アース・アイデンティティー・プロジェクトが実施しています。世界の子どもたちが真の平和を愛する気持ちや世界的な視野を育み、地球の平和と環境を守る機運を世界中に広げることを目的に、1996年にバングラデシュで始まり、日本をはじめ世界各地で活動が行われています。